

# 現代人間論系ガイダンス

2021年3月 現代人間論系

## ●ようこそ、現代人間論系へ！

新2年生の皆さん、ようこそ現代人間論系へ。感染症の拡大で、対面の環境が著しく損なわれるなか、さまざまな思いを抱えて進級されることと思います。教員一同、皆様が充実した大学生活を送れるよう力を合わせて参ります。わからないことがございましたら、遠慮なくお尋ねください。

さて、このガイダンス資料は、2年生以降の学びについて、簡単に紹介するものです。「演習ってなんなんだろう？」「授業はどうやってとればいいのか？」などなど、たくさんの疑問があると思います。そういった疑問を少しでも解消するべく、この冊子を用意しました。

先輩となかなかお話もできず、もどかしい思いをされている方もいらっしゃるでしょう。事態が改善し、皆さんが、素敵な現代人間論系ライフをお送りすることを祈念しております。

現代人間論系運営主任 石田光規



## ●プログラムとは？

現代人間論系には、4つのプログラムがあります。この「プログラム」とは、それぞれ、固有の領域でまとまった科目群ではありますが、特定のプログラムに拘束されるわけではありません。あるプログラムの科目を集中して履修しても、さまざまなプログラムの科目をまんべんなく履修してもかまいません。

3年生になり、ゼミに所属すると、プログラム内で合同ゼミを開催するところもあります。こうしたケースでは、ゼミどうしでの交流が生まれることもあります。2021年度のプログラムと所属の先生は以下の通りです。

### 「多様性を生きる人間」論プログラム(岡部先生、草野先生、森山先生)

本プログラムは、論系全体のテーマ「ともに生きる」に、多様性という第二の主題を接合するプログラムです。ジェンダーとセクシュアリティ、ディスアビリティにかんする研究を基軸とし、社会学、文学、文化研究といった学問の手法によって、現代を生きる人間の多様性とその生の諸相にアプローチします。

### 「関係を生きる人間」論プログラム(阿比留先生、石田先生、御子柴先生)

本プログラムは、現代社会が抱えるさまざまな問題を産み出す社会的メカニズムに対して、人間関係、子ども文化、規範意識の観点から理解を深め、社会学、教育学、倫理学のコラボレーションによって、そうした諸問題を解決するために何がなされるべきかを探求します。

### 「発達を生きる人間」論プログラム(大久保先生、小塩先生、清水先生)

本プログラムは、人間の成長・発達と現代の社会とのかかわりを総合的に学ぶプログラムです。ひとり人間は生まれてから死を迎えるまで変化し続けます。その変化の様相は個々人で異なると同時に、全体としても一定の共通したプロセスやパターンを見出すことができます。このプログラムでは、社会学や心理学の学問的枠組みを中心とし、人間の発達や個性の形成、人生のあり方やその意味について、理論面と実証面の双方からアプローチします。

### 「心身を生きる人間」論プログラム(小村先生、宮田先生、村松先生)

心と体は、私たち人間の基本です。体を壊すとき、心も折れてしまう。心と体の関係、そしてその総合としての人間のあり方を巡って考察するのがこのプログラムです。死や病気の問題、コミュニケーションにおける身体の役割、認知における心と体の役割などを、心理学、哲学、倫理学、そして宗教思想などの観点から、立体的に明らかにしていくことを目指しています。

## ●履修登録にあたって

3月下旬には履修登録があります。そこで、履修にあたって先輩たちが意識してきたこと、教員からのアドバイスをまとめます。履修の参考にしてください！

### <先輩から>

- 授業履修での基準は、入りたいゼミが決まるまでは、自分の興味分野を幅広く履修しました。志望するゼミを自分の中で決めてからは、そのゼミに関連のありそうな授業を履修しました。(もちろん、関連の薄い授業もいくつか取っていました。)
- 興味あるものを複数ピックアップしてそのうち時間割を鑑みて受講可能なものを選んでいました。私は、似た授業はあえてとらないようにしました。
- マイルストーンや授業口コミサイト(楽天みんなのキャンパス等)を鵜呑みにせず、シラバスを読んで惹かれた授業を履修していました。興味があれば、本キャンの授業(他学部)やGEC、チュートリ英語なども取っていました。
- 自分の関心と、マイルストーン、授業口コミサイト、シラバスを総合的にみて考えていました。あと、これは人にもよると思いますが、私は授業内容について人と話した方が学びが深まったので、友人と同じ授業をとるのもありだと思います。
- ゼミはある程度決まっていたので、敢えてゼミとはあまり関係のない授業を履修していました。学びたいことが決まっていないうちなら尚更なのですが、面白そうだと感じた講義をどんどん受講するのがいいと思います。
- 個人的に演習は、必要単位数分早めにとってしまうのがおすすめです。1日に2つの演習を取った学期もありましたが、課題の量などを考えても、意外となんとかなる演習が多いと思います。2、3年生の時は授業で選外になる可能性が高いので、本当に受けたい授業がある場合は1、4年生でなら通るかもしれません。
- 授業は興味のある分野、先生をシラバスやマイルを使って調べて取りました。私の場合、社構にも現代人間論系と同じくらい興味のある先生方がいて、講義でその方面をカバーしています。論系は現人ですが、講義や演習でいろんな先生の授業を取れば、論系に固執せず好きな分野を広く学べると思います。演習は希望するものが取れなくて、時間合わせで取った授業でも最終的に良い学びの機会だったと思える授業ばかりです。楽しく充実した授業になるかどうかは自分の気持ち次第だと思います！
- 自分の興味関心のある内容で選ぶのがベスト。その題材について自分なりの考えがあるものだと、発言や発表など積極的に参加しやすいかも。教職課程を履修している人は、「教科に関する科目」に算入できる演習を確認しておくといい。社会科学系の免許なら、算入できる演習はそれなりの数がある。

## < 教員から >

- 入りたいゼミが決まっている場合は、希望するゼミ担当教員の授業をあらかじめ履修することを強く推奨します。ゼミ論のテーマを2年次からうっすらさぐっていくためにも、自分の問題関心をしっかり深めるためにも、志望するゼミの教員の授業をまずはとってみることが基本です。そうすることによって、ゼミに入ってから mismatches も防ぐことができます。

- 一学期でとることのできる演習の上限は、6単位、つまり、3コマまでです。演習は、2年生からの授業の中心となりますから、皆さんはそこで集中して勉強することを考えて、あまり多く取り過ぎないように上限があるわけです。4年生の時に授業をとらないようにするために多くの演習をできるだけ早くと考えている学生さんもあるようですが、やはり1学期について、2コマくらいが適切なところでしょう。それでも、充分、3年の終わりまでに必要な単位を取り終わる事ができます。

- 学生が自由に授業をとり、自ら考えて勉強を組み立てていくことができるのが、文化構想学部です。どのような演習をとるか、講義をとるか、人それぞれで、一言で言えば「どうぞ、ご自由に」となります。しかし、それでは迷ってしまう場合、以下のような考え方、方法も参考として考えてみてください。

まず、プログラムを参照する方法です。「多様性から人間を学ぶ」、「個と社会の関係から人間を学ぶ」、「発達視点から人間を学ぶ」、「心身から人間を学ぶ」とそれぞれのプログラムは大まかな勉強の方向性を示しています。これは、皆さんが、講義や演習をとるときの一つの羅針盤として活用することができます(ただし、プログラムは何の縛りでもありませんので、どこかのプログラム内に属さなければいけないとか、他のプログラムの演習をとることができないといったことはありません)。

また、先生方が書いている履修モデルを参考にするのも一つの方法です。文化構想学部の現代人間論系の「現代人間論系履修モデル」にでていますので、一度みてください。

最後にもう一つ、シラバスを検索する方法もあります。その際、講義名ではなく、自分が気になっている、関心のあるキーとなる言葉を入れて検索してみます。たとえば、「宗教」とか、「ナラティブ」といった言葉を入れてみると、宗教に関係する、あるいはナラティブに関する講義や演習がでてきます。そのシラバスを読んで、今学期は、宗教関係を中心に学んでみようとか、ナラティブとは何か、理解してみようとか、自分で目標設定をすることも一つの方法でしょう。

これ以外にも、いろいろあると思いますが、皆さん工夫して自ら主体的に学び方

を考えてみてください。

•基本的には自らの関心のあるものを選んでください。発表やグループディスカッションがメインなのか、テキスト講読がメインなのか、はたまたデータ分析がメインなのか、演習のスタイルによって皆さんに合う合わないというのもあるでしょうから、その演習がどうやって運営されているのかをシラバスで調べてみると良いでしょう。

\* その他、論系での生活などのご質問については別添ファイルをご参照ください。

## ●先輩たちの学生生活モデル

### <サークル活動をしている N 先輩>

(2 年春学期)

	月	火	水	木	金	土
1		演習（不死の様式）		演習（調査データ収集・分析の手法）		西洋史概論 1
2		西洋史研究 1(西洋近代史)		教育方法・技術論（中・高）E	アジア史概論 1	
3	演習（親密圏の論理と倫理）	中東・イスラーム研究入門				
4	社会学の考え方 1	社会科教育法 2 E		中国語会話（中級）A	社会科教育法 1	
5	死の諸相			人文地理学 1		

#### 1) 履修の仕方のすすめ

2 年次は教職も取っていたため、かなり忙しかったです。全休を作りたかったので、1日 3~4 コマ取っていました。教職科目を優先的に取り、残りのコマで好きな授業を取っていました。当時は暇な時間がほとんどなく、このままでは第一希望の職種に向けた準備ができないと判断し、2 年の秋学期の途中で教職を辞めました。しかし、就職活動が思うようにいかなかったり、自分の「やりたいこと」を分析していくうちに教師に近いことに改めて気づき、取り続けていけばよかったと思うことがたまにあります。一方、教職を辞めたことで本当に興味のある授業を取ることができたのは大きな収穫でした。教職を続けるか迷っている人は、「本当に教員免許が自分のキャリアに必要なのか」「限られた大学生活で何を得たいのか」という観点で考えてみると良いと思います。それから、取りたい授業は、2 年生のうちに取っておくことをお勧めします。3 年生になると抽選が通らないからです。私は 3 年の秋学期に 5 コマ落選しました。また、演習は講義に比べて課題の量が多いため、シラバスは特別によく見た方がいいです。私は英語があまり得意ではないのですが、3 年次に取った演習の文献がほぼ英語であることに気づかず、毎週何時間も読まなければいけませんでした。終わってみれば「取って良かった」と思える内容だったのですが、費

やす時間があまりにも長すぎて、「ちゃんとシラバス読めば良かった…」と何度も思いました。

## 2) 課外活動とアルバイト

メインの課外活動はサークルでした。放送研究会とミュージカルサークルの2つに所属しており、時期によってどちらにコミットするかを分けて活動していました。基本的にどちらも火曜と金曜に活動があるため、そこは必ず空けていました。アルバイトは月曜日の3限前と全休の水曜、土日どちらかという感じで週3回ほどやっていました。カフェの朝番で、授業前に入れられたのは良かったです。(今年度はオンライン授業だったので、10時半までアルバイトをして40分からパソコンで2限を受ける…なんて荒技もやっていました)

## 3) 2年生へのアドバイス

何が学びたいのかよく分からない、という方もいると思います。私もその1人で、自分の明確な興味が見えたのは3年の秋になってからでした。それまでは「何となく面白そう」で授業を取っていましたが、その「何となく」が自分の過去の経験や「やりたいこと」の軸に繋がっていた気がします。「面白そう」の積み重ねが案外大切だなと思いました。やりたいことが思うように出来ない日々が続きそうですが、できることには無理のない範囲で手を伸ばすことをお勧めします！





## < 教職課程を専攻している 0 先輩 >

(2 年春学期)

	月	火	水	木	金	土
1				<u>地理学</u>		<u>西洋史</u>
2			心理学	論系演習	<u>体育</u>	
3		社会科学部の 授業		論系演習	<u>心理学</u>	
4		<u>心理学</u>	<u>地理学</u>	中国語	<u>社会科教育法</u>	
5		論系演習	<u>社会科教育法</u>			

### 1) 履修の仕方のすすめ

まずは0次登録でしっかり論系演習を履修することです。私は二年生の頃から様々なプログラムの演習を取るように意識していました。そのあと私は中高社会科の教職課程を履修しているので、教職の授業をメインに時間割を組み立てていました。特にキャンパス移動の時間はしっかり計算したほうが後々楽です。(ちなみに傍線が引かれている科目はすべて教職関係)あと1年生で語学の勉強を頑張ったので、2年生も語学の科目を選択しました。

### 2) 課外活動とアルバイト

私は課外活動としてテニスサークルと放送研究会、アルバイトとしてカフェと塾講師をやっていたため、毎日計画的に行動していました。計画立てることは意外に大変ですが、その分毎日充実していました。勉強も課外活動もアルバイトも、思いっきりやれる時期は案外二年生だけかもしれないので、悔いはないように楽しむことが一番大切です！

### 3) 2年生へのアドバイス

2年生になると、履修登録で好きな科目がたくさん取れると思います。だからこそいろんな分野の科目を履修してみると、それだけ世界が広がって本当に楽しいです！また現代人間論系の中だけでも学べることはたくさんあります。そのため2年生のうちにその中から「自分は特にどの分野に興味があるのか」を定めておくことをおすすめします。そうすると、3年次のゼミや卒業研究の選択に迷いがなくなるでしょう。2年生の皆さん、思う存分いろんなことに挑戦して充実した大学生活を送ってくださいね！

## < 体育会に所属する W 先輩 >

(2 年春学期)

	月	火	水	木	金
2				演習(子育ての文化比較)	平和・人権論
3				イタリア語中級 1	健康・医療心理学
4	霊性と身体		地誌 1	多元文化特論 4	
5	演習 (近代的人間観の論理と倫理)		イタリア文化を知る 5 (都市を巡る)	子ども支援論	

### 1) 履修の仕方のすすめ

興味のある授業を受講するのが一番だと思います。履修モデルの通り、多様な学問に触れてきましたし、他の学期でも、ジェンダー、文学、社会学、言語学、その他様々な分野の授業を受けてきました。もちろん、プライベートや他の授業との兼ね合いなど、様々あると思いますが、自分は「面白そう」といった心の機微を一番大切にしていました。授業毎に負担の差こそあれ、楽しく実りのある学びに出来たと感じます。せっかくの文構、「現代人間論系」という枠に囚われずに、自由に履修することをお勧めします。書いていてワクワクするようなレポートを書けそうな授業が、オススメです。

### 2) 課外活動とアルバイト

自分は応援部に所属しているので、常に部活動が中心の大学生活を送ってきました。基本的に活動が夕方以降で、授業優先なので、履修を部活動に合わせるという事はしていませんでした。しかしその分、土日や夜に時間が取れないので、空きコマの時間に課題を進めるようにしていました。勉強、部活、サークル、アルバイト、何かしら自分の学生生活の軸を決めて、その上で他のものもしっかりと両立出来るように、自分なりの工夫が大切だと思います。

### 3) 2年生へのアドバイス

思うままに、何にでも興味を持って一生懸命に取り組んでほしいです。学問でも、課外活動でも、アルバイトでも、自分が思いを持って取り組んだことは必ず自分に返ってきます。全ての経験は無駄じゃないと思います。一度経験したことは全て自分の一部になるので、一生に一度(例外ありますが)の早稲田大学文化構想学部 2年生、心のままに精一杯謳歌してやってください。



## ●教員から一言

阿比留 久美先生 教育学(社会教育、青年期教育)、ソーシャルワーク

授業、課外活動等あらゆる側面で様々な制約がある現在ですが、関心をもったことには、勇気をもって積極的に自分ではたらきかけてみるよう挑戦してみてください。能動的なはたらきかけには必ず誰かがなにか応えてくれると思います。

石田 光規先生 社会学、ネットワーク論、人間関係論

2年生は、大学生活の基礎になる学年だと思います。広い視点で色々なところに網を張って生活してください。

大久保 孝治先生 社会学

年表に載ることになる出来事の渦中に身を置くという経験はめったにできません。コロナの日々をフィールドワークするつもりで観察・記録してください。

岡部 耕典先生 福祉社会学、障害学(ディスアビリティ・スタディーズ)

現代人間論系によろこそ！入学以来ほとんどキャンパスに来ることができなかつたみなさんと、これからどのように〈ともに〉学び、考えていくのか、早稲田大学と現代人間論系の力量が問われています。コロナ禍をこれからの社会の在り方と一人一人の生き方を構想していくための契機とし、マッチョとは異なる在り方の「逞しい英知」を目指していきたいと思いますのでどうぞよろしくお願い致します。

小塩 真司先生 発達心理学、パーソナリティ心理学

私たちの生活が大きく変化するとともに、学ぶ環境も大きく変わっています。本、ウェブサイト、国内外のオンラインイベントもあります。これを機に、自分自身にとってよい選択をしていってください。

小村 優太先生 中世アラビア哲学、宗教哲学、比較思想、思想史

先の見えない時代だからこそ、悔いのないように生きてください。どんなことでも一生懸命やってみてください。自分が動けば風が吹いてきます。ぜひ新たな風を巻き起こしてください！

清水 由紀先生 発達心理学、文化心理学

「問い」を持ち、とことん追求することの面白さを存分に味わってください！

草野 慶子先生 比較文学 比較文化 ロシア文化研究

心身の健やかさにとって最も大事なものは睡眠だと思いますが、眠っているというのは、体は動かない、意識も(完全には)ないわけで、つまり生きながらにして死んでいるような状態だというのは興味深いことです。私の専門は文学ですが、最近、真摯に生きながらも半分向こうの世界にいる人々を描く吉本ばなながしみじみいいな、と思うようになりました。皆さん、若いからってずうっと動いていなくてよいのですよ。良い眠りをも懸命に生きてください。

御子柴 善之先生 倫理学、カント哲学を中心としたドイツ近現代哲学

新2年生のみなさん、現代人間論系によろこそ！ 「論系」の「論」は、いまだ「学」として確立・固定される以前の、新しい知的な営みを表現しています。ぜひ既存の枠組みに囚われることのない自由な視点から、「人間とはなにか」という問いに立ち向かってください。

宮田 裕光先生 認知心理学、神経科学、心身論

大学生活の最初からキャンパスで学ぶことができず、不安や戸惑いも多いことと思います。しかしそんな中でも、心身の健康に留意して、1日1日を大切に、愉しんで過ごしていけるとよいですね。論系や学業についての皆さんからのご相談など、いつでもお待ちしております。

村松 聡先生 近現代哲学、倫理学

現代人間論系によろこそ。これから大学らしい勉強が始まります。いろいろな視点から「人間」をみつけてください。

森山 至貴先生 社会学、クィア・スタディーズ

ただでさえ大学1年目は手探りの時期なのに、2020年度は通学もサークル活動もままならず、例年以上に見通しの悪い海原をみなさんは1年間進んでこられたと思います。それでも2年生になれば、「やりたいこと」と「できること」の網を徐々に狭めはじめなければなりません。われわれ教員も、今年は例年以上にそのお手伝いに尽力したいと思います。

## ●困ったときはこちらへ

### <現代人間論系室>

現代人間論系室では、ゼミや卒業研究に関する質問や相談を受け付けています！お気軽にご相談ください。

場所 : 33号館7階 701室  
開室時間 : 月~金曜 12:00~18:00  
メールアドレス : [human@list.waseda.jp](mailto:human@list.waseda.jp)  
HP : <http://www.waseda.jp/gendainingen/>  
Tel/FAX : 03-5286-3558



### <ラーニング・アシスタント>

現代人間論系では、学生のみなさんのレポート作成や発表の仕方など、学習に関する基本的な疑問の解決を助けてくれる、自学自習支援ラーニング・アシスタント(LA)を配置しております。

現時点では、2021年度における具体的な運用形態(対面・オンライン)、相談受付可能時間は未定となっておりますが、決定し次第、論系ホームページ等でみなさんにお知らせいたしますので、ぜひ気軽に利用してみてください。

### <運営主任、担任>

その他、論系のことでわからないことなどございましたら、運営主任、もしくは担任まで御連絡ください。

運営主任:石田光規([ishida@waseda.jp](mailto:ishida@waseda.jp))

担任:大久保孝治先生([ohkubo@waseda.jp](mailto:ohkubo@waseda.jp))

岡部耕典先生([k\\_okabe@waseda.jp](mailto:k_okabe@waseda.jp))

御子柴善之先生([mikoyuki@waseda.jp](mailto:mikoyuki@waseda.jp))

宮田裕光先生([miyata@waseda.jp](mailto:miyata@waseda.jp))

村松聡先生([akira-muramatsu@waseda.jp](mailto:akira-muramatsu@waseda.jp))

\*3月27日午後各クラスで対面のイベントを実施する予定です。詳細はメールにて通知します。

よい論系生活を！



密やで！

